

## 大雪と石狩の自然を守る会

会報『ヌタプカムシペ』08 / 5月号を発行

通巻139号。会報の表紙は毎回寺島代表の自然の写真で飾っているが、どれも美しい。今回は「エゾヤマザクラ」。素朴な色彩に自然の息吹が伝わるようだ。また、今年から始まった天然産卵資源回復のための放流試験で、市民300人が集まってサケ稚魚5000尾の稚魚を放した模様が、7ページの写真で紹介されている。

貴重な講演の記録と、総会報告では、実績、計画ともに詳細・多彩で、会の着実な活動が伺われ敬服する。

---

創立35周年記念「第9回大雪山フォーラム」より

### 記念講演「北海道の森林年全公演の未来を考える」(下)

北海道大学大学院農学研究院教授 垣澤宏昭 氏

08. 1. 26に行われた記念講演の収録。

#### 自然公園の未来を考える

- ・二つの自然公園
  - ・ 営造物公園・トンガリロ国立公園
  - ・ 地域性国立公園の可能性
  - ・ イギリスの国立公園
  - ・ イタリアの国立公園
- ・ 終わりに

---

特集 2009年度定期総会報告

**【主な活動項目】**

- I 大雪山に関する取り組み
    - 1. 世界遺産の理念と枠組みを生かした保全活動
    - 2. 大雪山国立公園におけるパトロール活動
    - 3. 防衛省上富良野演習場拡張問題
    - 4. 関係機関との話し合い、要請等
  - II 石狩川に関する取り組み
    - 1. 水辺環境保全に関する活動
    - 2. 野生サケを回復させる活動
    - 3. 学習会、講演会等の実施
    - 4. 関係機関との話し合い、要請等
  - III 森林に関する取り組み
    - 1. 大規模林道に関する取り組み
    - 2. 天然林を保全する活動
    - 3. 関係機関との話し合い、要請等
  - IV 身近な自然に関する取り組み
    - 1. 緑地の保全と回復に関する活動
    - 2. セイヨウオオマルハナバチに関する取り組み
  - V 自然環境教育の取り組み
    - 1. 大雪山講座「ひぐま大学」の開講
    - 2. 自然学園「グリーンフォーラム」の開校
    - 3. 環境アドバイザー活動の推進
- その他会務に関する活動

## 北海道サーモン協会

会報 『THE SALMON』 No. 8 を発行

同会報は年2回発行しており、今回は08年度前期分。まだ歩き始めのこの会は、市民への浸透度も低く、会報の内容も、「会の趣旨」なども訴える一般向けになっています。

主な内容は

- ・ まだ続けるの『カムバックサーモン』！
- ・ 定期総会：07年の事業実績と決算 と 08年事業計画と予算
- ・ 英語でサケを知ろう
- ・ サケの7不思議

- ・ サケを『北海道の魚』に

このうち、08年事業の計画については次のように紹介しています。

- ・ 公開市民講座：9月29日開催。自然健康食「サケ」の講話と調理実習
- ・ 夏・冬休み子どもサケ講座：市場見学、サケ学習、食育
- ・ サケ会議と『サーモンロードふれあいの旅』：十勝開催を予定
- ・ サケ学習国際交流：学童12名カナダ派遣（09.3.26～4.3）

その他の事業

- ・ サケ稚魚放流式 ・河川観察会 ・会報、ブログの発信 ・会員交流会 ほか

---

## 事務局便り

---

### ○ 会員から次の変更連絡がありました。

1. 標津漁業協同組合 窓口の変更： 今野昇→ 山村猛(定置部会事務局)

### ○ アンケートの回答をお願いします。

本年の総会・サケ会議を十勝で開催する予定で、ニューズレター3号で参加可否見込みのアンケートをお願いしましたが、回答率 37%にとどまっています。開催準備の都合もありますので、至急ご回答ください。(開催日程は、10月11日：総会とサケ会議 12日見学としております)

なお、正式な参加可否については9月になってから問い合わせをさせていただきます。

### ○ 会費納入のお願い。

会計年度は1月～12月で、08年度の会費収入予算は51,000円(総会承認額)です。本年度の6月14日現在の会費納入状況は、19団体中3団体です。

誠に恐縮ですが、本年は総会・サケ会議の帯広開催の特殊事情もあり、今後の予算執行に困難が生ずると懸念されますので、早めに納入頂ければ幸いです。

なお、07年度会費の未納についても早急に納入頂きたく、ご確認の程お願い致します。